

病床確保計画における千葉圏域のフェーズについて

病床確保計画のフェーズ3からフェーズ2への移行については段階的に行うこととしており、本日、千葉圏域のフェーズについて判断することとしていたところです。

新規感染者数の動向等から、千葉圏域については、現状維持としましたので、お知らせします。

1 感染症の発生状況について

○ フェーズの移行に関する参考指標

	10月7日時点	9月30日時点
日々の新規感染者数 (直近7日間平均)	36.9人 (前週比 1.25)	29.6人 (前週比 1.00)
病床稼働率 (入院者数/即応病床数)	29.6% (188人/635床)	25.7% (163人/635床)
重症患者の受入れ率 (重症者数/重症者病床数)	22.2% (12人/54床)	16.7% (9人/54床)
ホテル稼働率 (ホテル療養者数/確保部屋数)	11.3% (80人/710室)	7.9% (56人/710室)
東京都の患者発生者数の動向 (直近7日間平均)	161.6人 (前週比 0.88)	183.6人 (前週比 1.27)

2 現状の分析

○ 新規感染者数について、千葉県では35名程度の推移となっており、一時期に比べると微増傾向にある状況です。東京都においても、引き続き200名を超える日があるなど多い状況が続いています。

3 方針

○ 千葉圏域については、現状維持とすることとします。